

試験当日

キャンパスで対面により試験や面接を行う入学者選抜

(デザイン工学部総合型選抜)

- 試験開始 20 分前までに受付を済ませ、指定された座席に着席してください。
- 試験会場内では、試験監督者の指示に従ってください。
- 必ず受験票を持参してください。受付で受験票を提示し、試験会場内では常に携帯してください。受験票を紛失・破損した場合は、受付の係員に申し出て受験票の再交付を受けてください。受験票を忘れた場合も同様に受付で係員に申し出て、受験票の再交付を受けてください。
- 上履きは必要ありません。
- 試験会場に時計はありませんので、持参してください。
- 日曜日は、学生食堂や生協等の売店は営業していません。必要に応じて昼食を持参してください。
- 試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に罹患し、治癒していない場合は、他の受験生や監督者等へ感染の恐れがあるため、受験をご遠慮願います。なお、受験できなかった場合でも、追試験や入学検定料の返還は行いません。
- 遅刻者の入室限度時刻は試験開始後 20 分までです。また、試験が終了するまで退室できません。
- 試験中に使用可能な物品は下表のとおりです。

試験中に使用を認めるもの	試験中に使用を認めないもの
・黒鉛筆 ・シャープペンシル ・鉛筆キャップ ・プラスチック製消しゴム ・鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフ類を除く） ・シャープペンシルの替え芯（ケース含む） ・時計*（標準的な時計機能だけのもののみ可。秒針音のするもの、大型のものは除く） ・眼鏡 ・ハンカチ ・目薬、点鼻薬 ・ティッシュペーパー（袋または箱から中身だけ取り出したもの）	左記「試験中に使用を認めるもの」以外のものは使用を認めません。以下に例を挙げます。 ・携帯電話、スマートフォン、PHS、ストップウォッチ、スマートウォッチ、タイマーなどの電子機器 ・下敷き ・定規（定規機能を備えた鉛筆等を含む） ・グラフ用紙 ・コンパス ・アラーム機能、計算機能、辞書機能等を備えた時計 ・電子辞書、翻訳機 ・電卓、そろばん ・耳栓 ・赤ペン、色鉛筆、色マーカーペン

*試験室に時計はありません。

*プロダクトコースの実技試験では、上記「試験中の使用を認めないもの」のうち一部使用を認められる物品、また追加で使用可能な物品があります。詳細は要項の「選考方法」ページを確認ください。